

AUD/JPY(6/4) 02年以降、4年にわたり豪ドル堅調



コメント

先週の値動き＝軟調。底堅い動きが続いていたが、水曜日以降、売られる展開に。日足で見れば、買ったり売られたりしている。

今週の指標＝7日にRBA政策金利が発表。据え置きが予想されている。

テクニカル＝スワップ派に人気の豪ドルは、2002年以降、約4年にわたり、堅調な動きが続いている。**24ヶ月移動平均線**に沿い、上昇基調が続く。

ファンダメンタルズ＝同じオセアニア通貨であるNZドルが急落をしているのに比べ、豪ドルは安定感がある。やはり、経済規模が大きいことや、金など鉱物資源が取れる強みからか。

テクニカル・レート

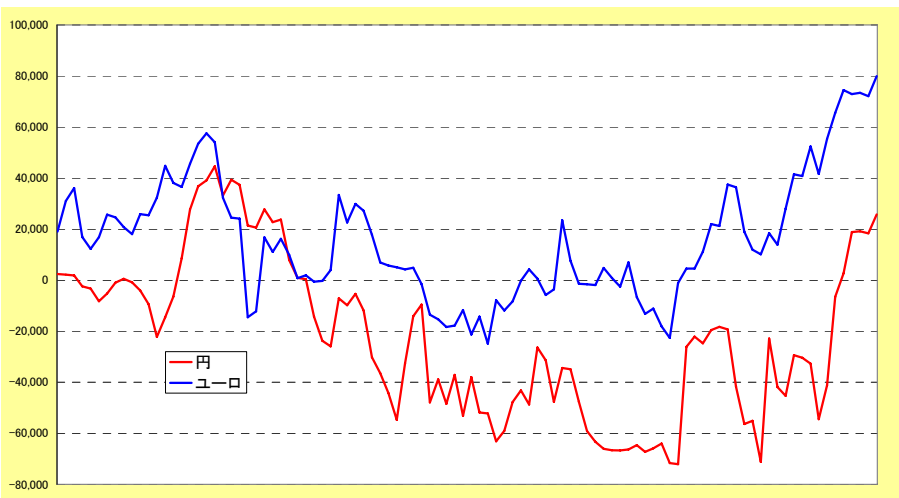
+2σ = =89.72円
 24ヶ月動平均線 =83.28円
 -2σ = =76.84円

先月高値 = 87.78円
 先月安値 = 83.56円
 先月終値 = 84.53円
 直近の値 = 84.03円

今週の投資例

トレンド＝上昇
 現在値＝84.03円
 83円台で押し目買いか。ただ、4年にわたり上昇が続いていることもあり、逆指値は必須。

投機筋の円買いポジション拡大、8日のECB政策金利・総裁会見に注目

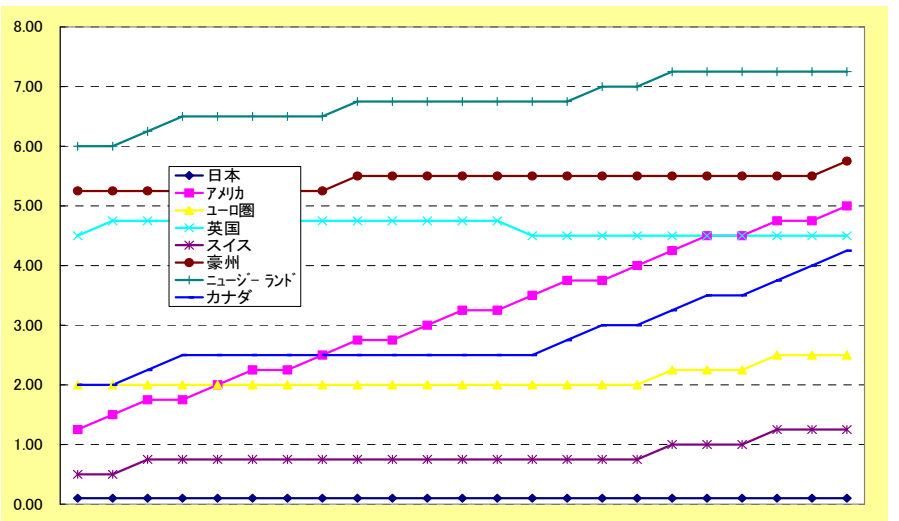


IMM投機筋ポジション動向

5月30日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の買い持ちは約2.6万枚。先週より約0.7万枚拡大した。30日の終値は112.25円。直近6月2日の終値は111.73円。さらに拡大か。

一方、ユーロの買い越しも先週より約0.7万枚拡大し、約7.9万枚。30日が1.2856ドル。2日が1.2916ドル。さらに拡大か。

値動きは方向感に乏しいものの、投機筋の動向から見ると、再び円やユーロを買い戻す動きにあったことが分かる。ドル買戻しの雰囲気もあるが、投機筋はまだドル売りの姿勢と言える。



各国金利動向

先週は政策金利の発表はなかったものの、世界的な株安に伴い、米利上げについて様々な思惑が働いている。とりあえず、6月29日のFOMCでは利上げとなりそうだ。

今週は、欧州とオセアニア各国で政策金利の発表が行われる。特に6月8日のECB政策金利は利上げが予想されており、その後のトリシェECB総裁の会見とともに注目か。

その他、7日に(豪)RBA政策金利、8日に(NZ)RBNZ政策金利、(英)BOE政策金利が発表される。